



## ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント

日程：3月1日～3月4日

会場：琉球ゴルフ倶楽部（沖縄県）

### 1st round：

2017年は体調不良によって出場できなかった大会。「2018年は、2月にオーストラリアの試合で早速勝つことができましたし、体調もいいので、久々となる沖縄の試合、頑張りたいですね」と気合も一段と入っていた。ドライバーショットは、全選手のなかで、この日唯一のフェアウェイキープ率 100%。「高麗芝のグリーンが難しいですね。芝が立っている感じがします。タッチが大事ですね」とパッティングに微妙なズレがあったが、持ち前の安定感を武器にノーボギーでラウンド。一つのバーディを奪って1アンダー・17位タイとますますのスタートを切った。「開幕戦の初日、まるで応援してくれる皆さんが開幕を待っていたかのような、いい天気の中でスタートできてよかったです。皆さんの楽しそうな表情を見ると、私もうれしくなりますよ」と好天での幕開けに表情も自然とほころぶ。「ファンの方々からいいエネルギーをもらいました。あと3日間ありますからいいプレーをしたいですね」と一層の気合を入れた。

### 2nd round：

4バーディ・1ボギーの「69」。スコアを3つ伸ばして7位タイに浮上しても、ホールアウトした表情は晴れない。「最後の9番でのボギーが悔しいですね」。一打の重みを知るからこそ、満足はできない。「初日よりショットが良かったので、チャンスが多かった」。それだけに悔しい思いも強いが、全体を見れば、「二日目慣れてきたということもあって少しずつ良くなっています。明日はきっと、もっと良くなると思います」と評価できるラウンドだった。フェアウェイを外したのは一度だけと、ドライバーショットはこの日も安定の二文字だ。そして固執しすぎないのも彼女の強さである。「明日は徐々に天気が悪くなる予報ですよ？天気は心配ですが、最後のボギーで朝のスタート時間が早くなったので、逆に良かったと思います」と、前向きに笑い飛ばして、決勝ラウンドに向かって行った。

### 3rd round：

晴天の中行われた予選ラウンドとは一転。朝から強い雨が降り続き、雷も鳴り響く最悪のコンディションとなった。スタート時間が遅かったため、クラブハウスで天候を窺いながら待機していたが、試合は三度のスタート時間変更の末、中止に。54ホール短縮競技へと変更になった。その知らせを受けて宿舎へ。中止になっても、日課であるトレーニングを欠かさず実施した。試合日はトレーニングをしない選手が多く、昨シーズン序盤は自身も行っていなかったが、昨年出場した「全米女子オープン」の宿舎にジムがあり、やってみるとコンディションが良かった。それからは、負荷は練習日より減らしつつも毎日やることにしているという。この日は約30分、コンディションを整えることを中心に体を動かした。ちなみに一番負荷をかけるのは試合明けの月曜日だ。自宅近くのジムでみっちり追い込んでいるという。トレーニング後は「国際通りに行って、ショッピングしたり、ゆっくり時間を過ごしました。おいしい物を食べて、沖縄を感じる一日でした」とリフレッシュも万全だ。

### Final round：

4打差逆転を狙う仕切り直しの最終日は、キム・ヘリム、ユン・チェヨンと同郷の二人とともにアウトコースからスタート。言葉が通じるだけに、ラウンドはスムーズに進んだ。「私だけではなく、組全体がいいペースでできました。みんなの強いエネルギーが感じられました」。上位勢が苦しみ中、前半で二つ伸ばすと、折り返しての10番、11番で連続バーディを奪い1打差の2位まで浮上する。得意のペースかと思われたが、12番のボギーで失速。その後はスコアを伸ばせず、トータル7アンダーの3位タイで今季初戦を終えた。「決勝ラウンドは二日間プレーするチャンスがあると思っていましたが、なくなってしまい残念でした。でも、開幕戦ということでセンシティブな気持ちもありましたが、皆さんと一緒にお祭りのように楽しむことができました。今年は楽しみな一年になりそうです」。そして改めて今季の目標を。「今年こそ賞金ランキング1位を獲りたいです。これは日本に来たときから約束していることです。応援してくださっている皆さんをお待たせしてしまっているので、今年こそ女王になれるように頑張ります！」。

順位	選手名	スコア	1R	2R	3R	FR
1	イ ミニョン	205	72	67	—	66
2	ユン チェヨン	207	72	68	—	67
3	申 ジエ	209	71	69	—	69
4	畑岡 奈紗	209	70	72	—	67
5	濱田 茉優	209	70	72	—	67
6	諸見里 しのぶ	209	69	69	—	71
7	李 知姫	209	70	67	—	72
8	鈴木 愛	209	70	66	—	73
9	菊地 絵理香	210	72	70	—	68
10	キム ヘリム	210	75	65	—	70